

まちづくりに
ご活躍のみなさまを
紹介します!



エールくん
すばらしいみやぎを創る運動
イメージキャラクター

エール

みやぎ
まちづくり
情報紙

すばらしいみやぎを創る協議会 2020.3 vol.65

4つの県民運動

- 1 安全で安心なまちを創る運動
- 2 心の通い合う地域を創る運動
- 3 美しい生活環境を創る運動
- 4 地域文化を大切にする運動

みやぎ花のあるまちコンクール

花づくりや緑の育成を奨励することにより「ふれあい」と「思いやり」のある人づくり・地域づくり、そして、美しいふるさと『みやぎ』づくりを目指し「みやぎ花のあるまちコンクール」を県と共催で実施しています。



小野地域まちづくり協議会(東松島市)

最優秀賞

優秀賞



鷹巣花と緑の会(白石市)



せんだいハウスグリーンボランティア(仙台市)

審査員特別賞



竹ノ内・大江向親和会(大崎市)



石巻市立湊小学校(石巻市)

仮設住宅・災害公営住宅 コミュニティづくり賞



認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード(七ヶ浜町)



特定非営利活動法人
スマイルシード(仙台市)

もくじ

- 表紙：みやぎ花のあるまちコンクール受賞作品
- すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介(団体)・2
 - すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介(個人)・3
 - 県民のつどい……………4
 - 宮城県生活学校連絡協議会の事業紹介……………4
 - すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会……………5
 - 復興支援活動団体の紹介……………5
 - 犯罪のない安全・安心まちづくり県民運動……………6
 - コミュニティ助成事業の紹介……………7
- 裏表紙：あなたのまちのコミュニティづくり

今年度は
19件の応募があり、
審査の結果、
7団体が入賞しました。
おめでとうございます!!

令和元年度すばらしい
みやぎを創る運動功績者

【団体の部】

心の通い合う地域を創る運動
地域文化を大切に作る運動

世代間交流を通して 美しい環境を創る運動に 大いに寄与された団体



加美町鹿原地区
コミュニティ推進協議会
(加美町)

昭和50年から、人と人がふれあい安らぎのある住みよい地域づくりを推進するため、生活環境モデル地区の指定を受け、各地域に花壇を作り、花いっぱい活動等を積極的に実施してきました。今回は会長と事務局の皆様にお話を伺いました。



薬菜山のふもとに広がる鹿原地区



活動拠点の鹿原地区公民館

加美町鹿原地区コミュニティ推進協議会が所在する加美町は、宮城県北西部に位置し、丘陵地帯、高原、平野部における四季折々の自然の変化が満喫でき、米、野菜をはじめとする豊富な食材が採れる自然豊かな地域です。

町のシンボルである薬菜山(標高553メートル)のふもとに広がる鹿原地区は、3つの行政区から構成されています。事務所を鹿原地区公民館に置き、様々な部会(青少年若妻部会・実年部会・婦人部会・長寿部会・地域おこし部会等)の取りまとめをし、地域内のコミュニティ事業を企画、実施しているのが鹿原地区コミュニティ推進協議会です。

美しい自然豊かなこの地区も、昭和40年代までは、川は手頃なゴミ捨て場にされ、野積み

の堆肥は悪臭やハエなどの害虫の温床となっていました。また、冬期には流雪溝の水が道路にあふれ、通行にも支障が出るなど、様々な問題を抱えていました。

しかし、地域の人たちが未

来の鹿原地区の為に力を合わせて「複合化で経済安定」「快適な環境づくり」「老若男女で話し合う地域づくり」「地域の特産物づくり」を目指して様々な取り組みをはじめました。それが実を結び、昭和50年に県古川農業改良普及所(現在の古川農業試験場)から生活環境モデル地区に指定されました。

鹿原風土記によると鹿原地区は

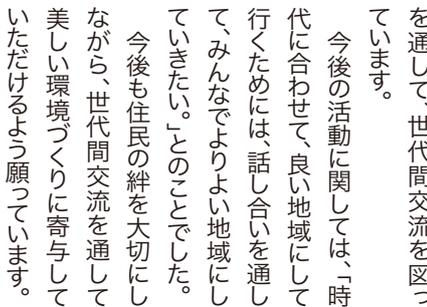
古くから移住者を受け入れた歴史があり、昭和初期には20戸程の移住開拓された地区もあります。現代でも、県内外の地域や海外から結婚を機に根付く人も多く、良いものを取り入れ、よりよい方向に舵を切る気風が備わっています。

地区には全校生徒が29人の鹿原小学校があり、子どもたちと地元の人たちは、みんな顔見知りです。学社連携事業の一環として「花いっぱい運動」を婦人部会と連携して行い、子どもたちの通学路(通称カリオンロード)に花を植栽しています。これにより、子どもたちの健全育成や美しい環境づくりに一役を担いました。また、例年行われていた「やくら高原マラソン」では、婦人部と子どもたちが共に給水活動を行う支援なども行い、観光事業の振興に寄与したことを評価され、県から「観光功労表彰」を受けるなど、様々な活動を通して、世代間交流を図っています。

今後の活動に関しては、「時代に合わせて、良い地域にして行くためには、話し合いを通して、みんなでよりよい地域にしていきたい。」とのことでした。

今後も住民の絆を大切にしながら、世代間交流を通して美しい環境づくりに寄与していただけるよう願っています。

子どもたちと婦人部会で行う花の植栽



**まちなシンボル
薬菜山について**

昔、坂上田村麻呂が蝦夷征伐に来た時、湧谷籠嶽山から薬菜山に向かって、長さ一丈五尺の弓で七尺五寸の矢を放ったそうです。

將軍は部下を遣わして三日三晩その矢を探させましたが、とうとう見つけることが出来なかつたそうです。そこでこの山が矢を喰ってしまったのであると矢喰山(やくらいさん)と名づけたのが由来です。

令和元年度すばらしい
みやぎを創る運動功績者
【個人の部】

地域文化を大切にする運動

地元の
語り部として
地域文化を
大切に
する運動に
尽力された



及川 貞子 さん(気仙沼市)

気仙沼市民憲章推進協議会松岩地区部会会長を2年間務め、活動の普及・推進に貢献されました。その後も顧問として事業の指導助言に当たり、平成23年からは記念講演の講師を務め、松岩地区の郷土の先人の偉業を紹介し、地域文化を大切にする運動に尽力されました。

及川さんが生まれ育った気仙沼市松岩地区は、太平洋に面し、変化に富んだリアス式海岸を形成し豊かな海や山の恵みを受けた地域となっており、また、地区内にある仙台藩上級家臣船員(あゆかい)氏の旧居館である煙雲館は、景勝を南に望む庭園で国の名勝にも指定されています。

及川さんが語り部になった経緯は、子ども時代に遡ります。祖母が寝物語として地域で語り継がれていた話を夜な夜な聞かせてくれました。明治以前は字を書くことの出来ない女性が多く、口伝えで地域の伝説などを語り継いでいました。その後、「郷土の伝説を集める」という小学校の授業で祖母から聞かされていた様々な話を発表し、注目を集めました。また、保育士時代はお昼寝

の時間に郷土の昔話をする、隣のクラスの子達も聞き耳を立てているほどでした。お金持ちの家の婆さんが現在の気仙沼市役所付近で化け猫に襲われた「おぼけねこ」の話をした翌日は、あまりのリアルさに保育所の子も達が市役所周辺に近づけなかつたと言います。

松岩地区には村史がないため、郷土誌編纂委員会を作り、弥生時代から明治初年までの年表を作成したので、先人の生年月日と業績を照らし合わせる事が出来ました。古文書を読む技術もないので専門家の力を借り、古い文書を紐解いていきました。子孫の反対にない、載せられなかつたことがあつたり、門前でお断りされたり紆余曲折

を経て、およそ25件程の取材を行ってきました。様々なお話を伺い、気仙沼市広報誌の特集に取り上げられ「おらえのことをかいてくれた! (自分の家のことを書いてくれた)」と大喜びされたこともありました。取材に対しては皆さん、好意的でした。

平成23年からは松岩市民憲章の集いにおいて、得た知識を活かして記念講演の講師を務めました。講演するにあたり、現代まで遡らずに明治時代から終戦時頃までに活躍された人々の紹介をしました。平安時代に流れていた皆鶴姫の悲恋についての伝説、明治以降では地域の用水路を整備した方々、助役として、区画整理に尽力された方、地域医療を支えた方々など、今まで埋もれていた歴史に火を灯し、地域文化を大切にする活動に尽力されました。



記念講演の講師をする及川さん

松岩地区の名勝
煙雲館庭園について

江戸初期、仙台藩茶道頭作とされています。築山を囲む池泉を中心とする回遊式庭園です。当地の景勝地である岩井崎が見渡せません。日本でも珍しい植物が配植されています。

令和元年度
すばらしいみやぎを創る運動功績者・団体

●木村正樹さん(東松島市)

まちづくり活動支援を展開し、東松島市内における市民団体の育成と持続可能な団体運営に向けた助言を行うなど、東松島市の「市民協働のまちづくり」の土台づくりに大いに尽力されました。

東松島市では、地域コミュニティの再生が大きな課題でしたが、集団移転地内の自治会の立ち上げやその後の行事運営に至るまでの積極的な支援により、円滑な自治会運営に繋げる活動をし、心の通い合う地域づくり、地域文化を大切にする運動に貢献しました。

●仙台市泉
ひまわり生活学校(仙台市)

明るい高齢社会を目指して暮らしやすい環境づくりや、子育てしやすい環境づくり等に取り組んでいます。

東日本大震災以降は、復興支援活動として泉内の仮設住宅を訪問し、心の通い合う地域を創る運動に貢献しています。また、交通安全母の会を立ち上げ、安全で安心なまちを創る運動を積極的に行っています。「3問題」の減量化と再利用や、食材のロス活動、レジ袋の削減、EM石鹸づくりなどを通し、美しい生活環境を創る運動に尽力されています。

第五十三回すばらしいみやぎを創る運動

安全・安心まちづくりフォーラム

すばらしいみやぎを創る運動の推進・

安全・安心なまちづくりを目指して



今年で第53回を迎えたすばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」安全・安心まちづくりフォーラムが令和元年11月19日にホテル白萩で開催され、県内各地からまちづくりリーダーや防犯団体関係者などが参加しました。

冒頭の表彰式では、長年にわたり運動に功績のあった2名と2団体が表彰されたほか、本年度の「みやぎ花のあるまちコンクール」の入賞7団体に、鎌田会長から表彰状と記念品が贈られ、その栄誉が称えられました。

引き続き行われた活動紹介では、一般社団法人気仙沼あそびーばーの会代表兼事務局長鈴木美和子氏より、「遊びを通じて子どもの心身の回復と成長について」と題してお話をいただきました。

子どもとの交流をサポートしているそうです。活動内容に心を打たれた参加者も数多くおり、開催後のアンケートでは大多数の方々より『良かった』『回答を頂き、とても感動した。拍手を送りたい。』『今後も頑張りたい。』『応援している。』『等数多くの温かいコメントが寄せられました。』

また、記念講演としてその後に行われた、防犯アドバイザーの中野小路たかまる氏による「笑って！学ぼう！防犯漫談」においても面白おかしく防犯について学び、成功裏のうちに終了しました。

すばらしいみやぎを創る運動を実践している団体「宮城県生活学校連絡協議会」事業紹介

令和元年度生活学校・生活会議運動 東北・北海道ブロック研究集会

基調講演

講師 立教大学社会学部 大学院
21世紀社会デザイン研究科 教授 萩原 なつ子 氏
「未来の人づくり、地域づくりを女性のパワーで」

全体協議

全国運動テーマ
「食を通じた子どもの居場所づくり」
・各県の取組発表
仙台市松陵生活学校(宮城県) 末 弘美 委員長
「ふれあい子ども食堂を通して地域の子育て環境づくりを」
柴田西住生活学校(宮城県) 山本 由香里 さん
「地域のかで子どもを育てよう!カレーひろばハピネス」
山形県庄内余目生活学校(山形県) 遠田 悦子 副委員長
「子ども食堂を開くにあたって」
・各県のテーマに沿った取組発表
青森県生活学校連絡協議会(青森県) 佐藤 和子 会長
チャレンジ相馬生活学校(福島県) 須藤 マサ子 委員長

令和元年度生活学校・生活会議運動東北・北海道ブロック研究集会が9月24日にパレスへいあにて開催されました。

宮城県をはじめとする生活学校関係者が集まり、「未来の人づくり、地域づくりを女性のパワーで」をテーマに立教大学社会学部大学院/21世紀社会デザイン研究科 教授 萩原 なつ子氏より講演をいただきました。

その後は全国運動テーマに沿った各県の取り組み発表等を行い、活動事例の共有や今後の活動のあり方について協議を行いました。



令和元年度すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会

「自分たちのまちは自分たちで創っていく！」

よりよいまちづくりのポイント

まちづくり=つながりづくり

1 地域の現状を把握する

- ①住宅を取り巻く環境について
- ②自治会エリアの概要
- ③交通・買い物・医療機関・公共施設
- ④会員の人数・年齢等を把握する

2 地域の活動を分析し、課題を見つける

- ①活動実態の整理
- ②地域が持つ強みと弱みの整理
- ③課題の抽出

3 まちづくりの方策(問題解決)へのスタート

- ①自治会の施策
- ②外部資源との連携
- ③「まちづくり」へのスローガン掲揚

県南会場(大河原合同庁舎)と県北会場(石巻合同庁舎)の2会場で、令和元年度すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会を開催し、平成30年度あしたのまちくらしづくり活動賞内閣総理大臣賞を受賞された東京都東久留米市氷川台自治会より殿田俊三氏を講師にお迎えし「自分たちのまちは自分たちで創っていく!」と題してご講演いただきました。

殿田氏は定年退職後、輪番制で回ってきた自治会長に就任しましたが、地域コミュニティの衰退に危機感を覚え、自ら先頭にたって協力を募り、地域の活性化へ向けた様々な活動を展開しています。現在は顧問として自治会活動を支える他、地域づくりのノウハウを広めるため、各地を飛び回り、よりよいまちづくりを応援しています。

「地域づくりに近道はありません。まず、問題意識を持って自分たちが動くこと。動けば必ず結果がついてきます。」と印象深いお言葉で締めくくられた殿田氏。

地域づくりに取り組む推進委員をはじめ、関係各所から参加いただいた皆様も熱心に聴講していました。



すばらしいみやぎを創る協議会では、率先して復興支援活動に取り組む関係団体へ活動費の助成を行いました

宮城県中学校長会 (石巻市立桃生中学校)

桃生ふれあい祭り「はねこ踊りパレード」に、全校生徒が参加しました。修理をしていただいた新しい櫓の上には、お囃子の生徒が乗っています。生徒達の元気で被災者を力づけ、これからも地域の伝統文化を引き継いでいきます。



すばらしいやまもとを創る協議会 (山元町教育委員会生涯学習課内)

絵画、標語を通じて震災前から変わらぬ、或いは震災後、新たに誕生した町の魅力を見つけ出し、郷土愛を育むことを目的として募集を行いました。今回で6回目の開催となり、すべての作品から山元町を多くの人に知ってほしいという思いが伝わってきました。



すばらしいおながわを創る協議会 (女川町教育委員会生涯学習課内)

女川町の女川北区は、震災後に山を繰り崩して造成した、高台にある地区です。すべてが新しく、彩りのある花が少ないので、住民が集まって、花の苗植え活動を行いました。和気あいあいと、花いっぱい心もほっこりしました。今後も継続していきます。



宮城県生活学校連絡協議会 (栗原市築館生活学校)

登米市南方仮設住宅で始めた震災支援活動は6年間継続しました。いつしか優しい絆ができ、「南三陸町にも来て欲しい。」と請われて行くようになりました。皆で歌や手踊り、手作りチラシ寿司や豚汁に会場が笑い声で包まれた時、また頑張ろうと語り合っています。





犯罪のないみやぎ 安全・安心まちづくり県民運動



宮城県では、「犯罪のない安全・安心な地域社会の実現」を目指した県民運動を推進しています。

安全に安心して暮らすためには、行政や警察の活動に加え、県民の皆さんが、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域で守る」という意識をもってまちづくりに取り組むことが重要です。

県民の皆さん一人ひとりが手を取り合い、協力して、安全・安心まちづくり県民運動を進めていきましょう。

全国地域安全運動宮城県大会 (安全・安心まちづくり県民大会) を開催しました。

■令和元年10月8日(火) ■太白区文化センター「楽楽楽ホール」(仙台市)

全国地域安全運動(令和元年10月11日～10月20日)の実施に伴い、宮城県、宮城県警察、(公社)宮城県防犯協会連合会の三者共催で開催されました。

防犯功労者・優良防犯団体の表彰や、落語愛好家「三流亭楽々」さんによる「笑って楽しく防犯落語」の口演、宮城県警察音楽隊・カラーガード隊によるコンサートを行いました。



口演「笑って楽しく防犯落語」



落語愛好家
三流亭楽々さん

「安全・安心まちづくり地域ネットワークフォーラム」を開催しました。

■令和元年9月18日(水) ■宮城県庁2階第二入札室

安全・安心まちづくり活動に取り組む防犯団体、学校関係者、行政、警察などが集まり、情報交換や事例発表を行うフォーラムを開催しました。

基調講演では、仙台大学体育学部の田中智仁准教授から「子どもを犯罪被害から守るための基礎知識」を学び、交流会では参加者それぞれの立場での問題点や意見を出し合うなど、実りあるフォーラムとなりました。



「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり活動リーダー養成講座」を開催しました。

■令和元年11月14日(木) ■大原町中央公民館
■令和元年11月30日(土) ■松島町役場大会議室



小宮教授の「犯罪機会論」の講義



フィールドワークの様子

犯罪者は、犯罪がうまくいきそうな場所を選んで犯行に及んでいる!! 「入りやすい」「見えにくい」場所は犯罪が発生しやすい場所とされており、本講座では防犯の専門家である立正大学の小宮信夫教授をお招きして犯罪機会論の考え方を学び、自分の地域をこれまでとは違った目線で見ること、見えなかった危険箇所を察知することを学びました。



☆本講座は宮城県と市町村が共催している事業であり、安全マップ作りを通して防犯活動の専門的な知識を養うものです。希望される場合はお住まいの市町村にお問い合わせください。

コミュニティ
助成事業とは

みなさんは、これまでにジャンボ系宝くじ(年末ジャンボやサマージャンボ等)を購入したことがありますか?購入したことがないという方でも、1等が当たったら何をしようか、一生遊んで暮らせるかな?等、お友達やご家族と、そんな話題に花を咲かせたことが一度はあるのではないのでしょうか。

十人十色の夢を描き、巨額の当選金を夢見て、当選番号を追いかける目にも力が入りますよね。

さて、このように日本全国でたくさんの方々が購入している宝くじですが、その売上金がどのように使われているのかまでご存じの方は、意外と少ないのではないのでしょうか。

実は、売上金の一部は、皆さんの身近なところに使われているのです。



このキャラクターが描かれている物や場所は、宝くじの売上金で購入したという目印になっているのです。皆さんが普段利用している公民館や、公園等、地域の皆さんが集まってコミュニティ活動する場所でクーちゃんを探してみてください。きっとすぐに見つかるはずです。

もうわかりましたね。

町内会等のコミュニティ組織であれば、市町村を通して申請すれば、宝くじの売上金の一部を助成金として受け取ることができる可能性があるのです。もちろん、助成金で購入した備品や建物には、目印としてクーちゃんを目立つ場所に表示しなければいけません。

助成金でコミュニティ活動を活発にしたいという町内会等コミュニティ団体は、まずは町内会等から市町村担当課に相談してみてください。自治総合センターへ直接申請することはできません。

宝くじ普及広報事業「コミュニティ助成事業」で備品を整備した団体紹介



昨年度の採択事業の一例をご紹介します。

白石市
上郡山自治会館運営委員会



白石市は宮城県の南部、福島県との県境に位置し、古くから城下町として栄えてきました。

市内中心部には、国内でも数少ない木造で復元した白石城があります。秋には、白石城主・二代目片倉小十郎重長と真田幸村の秘話を再現した「鬼小十郎まつり」が開催され、多くの観光客で賑わっています。また、市内の西側には蔵王連邦が連なり、四季折々の風景を楽しませてくれます。

そんな歴史ロマンと自然にあふれた白石市は、約3万4千人の市民が生活し、100を超える自治会が活動しています。その中の上郡山第一自治会と上郡山第二自治会の2自治会から構成され、地域の中心柱となっているのが「上郡山自治会館運営委員会」です。

当委員会では「相互協力・信頼関係の構築・協働・向こう三軒両隣」を活動理念として、各自治会活動の支援を進めてきました。この活動の大きな成果として、「みやぎ花のあるまちコンクール」にて3年連続受賞しました。更に、防犯防災・子ども育成会・市民体育祭・長命会等の活

動を通じ、
地域コミュ

ニティの醸成に日々努力しております。

さて、日々活発に活動している当委員会ですが、拠点である上郡山自治会館が平成8年に開設されて以来、使用してきた机や椅子に破損箇所が目立つようになり、常時使用出来るものが少なくなっておりました。また会館にはエアコンが設置されておらず、夏場などは窓を開けて会議やイベントを実施しておりましたが、会館のすぐ後ろを新幹線が走っており、約5分に1回通過するため、通過音によりその都度中断する事態になっておりました。

今回の助成では上記2点の改善を図り、机と椅子の新調とエアコンの設置を行いました。これにより、会館を今まで以上に使用出来るようになり、より活発な会議やイベントを実施することができております。

今後も、さまざまなイベントを通して地域間での交流を図り、より一層コミュニティ活動を充実させていきたいと考えております。

あなたのまちの コミュニティづくり



皆さんの地域の町内会や自治会などでは、環境美化などのコミュニティ活動が盛んに実施されていることでしょう。そのような活動の中で、こんな施設や備品があったら、もっと活動が活発になるのにと考えたことはありませんか。

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業費を財源とし、市町村を通じて、地域の町内会、自治会の活動への助成を行っています。

一般 コミュニティ 助成

地域的な共同活動に必要な施設・設備の整備事業への助成です。

.....
環境美化・文化学習・体育・レクリエーションなど様々な活動で使用する備品が対象となります。



塩竈市(大日向町内会)

コミュニティ センター 助成

地域住民の共同活動の拠点となる多目的な総合施設の整備事業への助成です。

.....
コミュニティセンター新築及び修繕、その施設に必要な備品等が対象となります。



加美町(小泉区)

青少年 健全育成 助成

青少年の健全育成を目的に地域で実施する親子参加型のソフト事業への助成です。

.....
各種野外活動の実施、スポーツ・レクリエーション大会の開催などが対象となります。



利府町(利府町図書館)

本事業に関する
お問い合わせは

宮城県環境生活部共同参画社会推進課

電話 022-211-2576

ホームページ<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/comijyo.html>

または、各市町村コミュニティ担当課までお気軽にお問い合わせください。

(仙台市を除く。)

令和2年3月発行 第65号

発行/すばらしいみやぎを創る協議会

仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県環境生活部共同参画社会推進課内

TEL022(211)2576 FAX022(211)2392



古紙ハルブ配合率70%再生紙を使用